

(第1面)

産業廃棄物処理計画書	
令和8年 6月 2日	
岩手県知事 達増拓也 殿	
提出者	
住 所 岩手県一関市東山町松川字滝ノ沢198	
氏 名 株式会社東北鉄興社	
代表取締役 伊賀 康治	
電話番号 0191-47-2626	
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。	
事業場の名称	株式会社東北鉄興社
事業場の所在地	岩手県一関市東山町松川字滝ノ沢198
計画期間	令和8年4月1日～令和9年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	製造業[窯業・土石製品製造業]
②事業の規模	製品出荷額 20億1千万円
③従業員数	57名
④産業廃棄物の一連の処理の工程	汚泥 選鉱場・焼成炉⇒運搬(委託)⇒セメント焼成利用(委託) 廃プラスチック類 製品倉庫⇒運搬(委託)⇒セメント焼成利用(委託) 廃プラスチック類(ウエス) 各製造工程⇒運搬(委託)⇒焼却処分(委託) 木くず 製品倉庫⇒運搬(委託)⇒破砕・チップ材(委託) ガラス・コンクリート・陶器くず 保管場所⇒運搬(委託)⇒破砕(委託)⇒埋立て(委託)

(日本産業規格



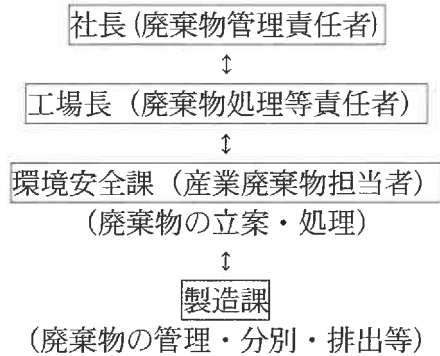
(第1面)

	④産業廃棄物の一連の処理の工程	紙くず 保管場所⇒運搬（委託）⇒破碎（委託）⇒セメント焼成利用（委託） 廃プラスチック類・金属くず・ガラスくずの混合 保管場所⇒運搬（委託）⇒破碎（委託）⇒造粒固化・焼却・埋立て（委託） 水銀使用製品産業廃棄物 保管場所⇒運搬（委託）⇒破碎（委託）⇒焙焼（委託） 廃電池類 保管場所⇒運搬（自己）⇒選別（委託）⇒焙焼（委託）
--	-----------------	---

(第2面)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

① 現状	【前年度(令和7年度)実績】 別紙のとおり		
	産業廃棄物の種類		
	排 出 量		
	(これまでに実施した取組) ・包装用紙等の削減による排出削減(紙くず・廃プラスチック類)		
② 計画	【目標】 別紙のとおり		
	産業廃棄物の種類		
	排 出 量		
	(今後実施する予定の取組) ・包装用紙等の削減による排出削減の継続		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 有償物(金属くず)の分別
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 有償物(金属くず)の販売によりリサイクルを図る。 分別の周知徹底

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

① 現状	【前年度（令和7年度）実績】 別紙のとおり		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量		
	(これまでに実施した取組) —		
② 計画	【目標】 別紙のとおり		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量		
	(今後実施する予定の取組) —		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

① 現状	【前年度（令和7年度）実績】 別紙のとおり		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量		
	自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量		
	(これまでに実施した取組) —		
② 計画	【目標】 別紙のとおり		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量		
	自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量		
	(今後実施する予定の取組) —		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

① 現状	【前年度（令和7年度）実績】 別紙のとおり		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量		
	(これまでに実施した取組) —		
② 計画	【目標】 別紙のとおり		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量		
	(今後実施する予定の取組) —		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

① 現状	【前年度（令和7年度）実績】 別紙のとおり		
	産業廃棄物の種類		
	全 処 理 委 託 量		
	優良認定処理業者への処 理 委 託 量		
	再生利用業者への処 理 委 託 量		
	認定熱回収業者への処 理 委 託 量		
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処 理 委 託 量		
	(これまでに実施した取組) ・ 優良認定処理業者へ処理委託している。		

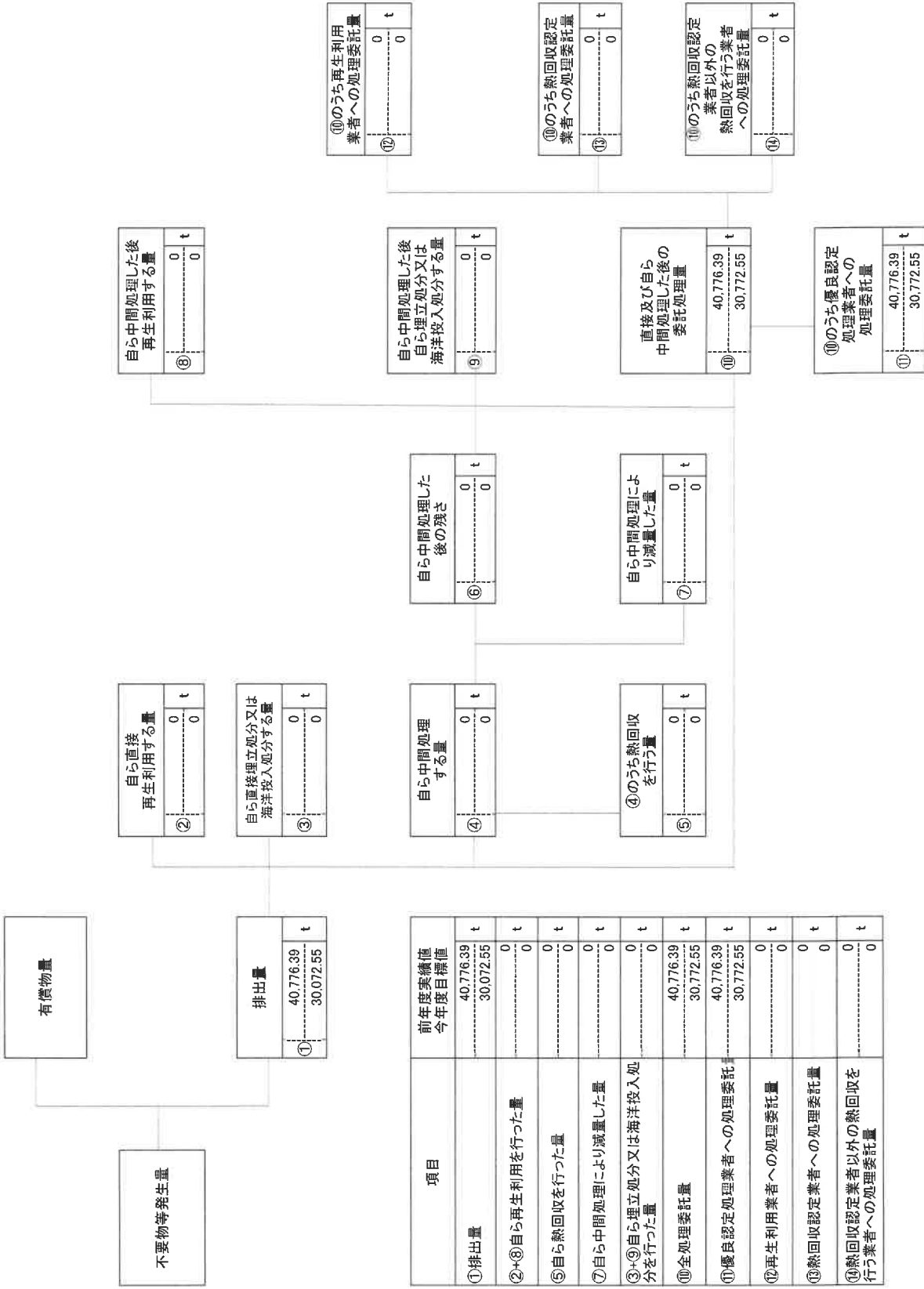
(第5面)

② 計画	【目標】 別紙のとおり		
	産業廃棄物の種類		
	全 処 理 委 託 量		
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量		
	再生利用業者への 処 理 委 託 量		
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量		
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量		
	(今後実施する予定の取組) ・優良認定処理業者、電子マニフェスト加入業者への委託を継続。		
	※事務処理欄		

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1) ①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2) ②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3) ④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

(産業廃棄物の種類: 全体)



(産業廃棄物の種類

汚泥

)

有償物量	
不変物等発生量	
排出量	
①	40,700.62 30,000.00
項目	前年度委託施設 今年度目標値
①排出量	40,700.62 30,000.00
②+⑥自ら再生利用を行った量	0 0
⑤自ら熱回収を行った量	0 0
⑦自ら中間処理により減量した量	0 0
③+④自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0 0
⑩全処理委託量	40,700.62 30,000.00
⑪優良認定処理業者への処理委託量	40,700.62 30,000.00
⑫再生利用業者への処理委託量	0 0
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0 0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 0

自ら直接再生利用する量	
②	0 0

自ら直接埋立処分又は海洋投入処分する量	
③	0 0

自ら中間処理する量	
④	0 0

自ら中間処理した後の残さ	
⑥	0 0

④のうち熱回収を行う量	
⑤	0 0

自ら中間処理により減量した量	
⑦	0 0

自ら中間処理した後再生利用する量	
⑧	0 0

自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分する量	
⑨	0 0

直接及び自ら中間処理した後の委託処理量	
⑩	40,700.62 30,000.00

⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量	
⑪	40,700.62 30,000.00

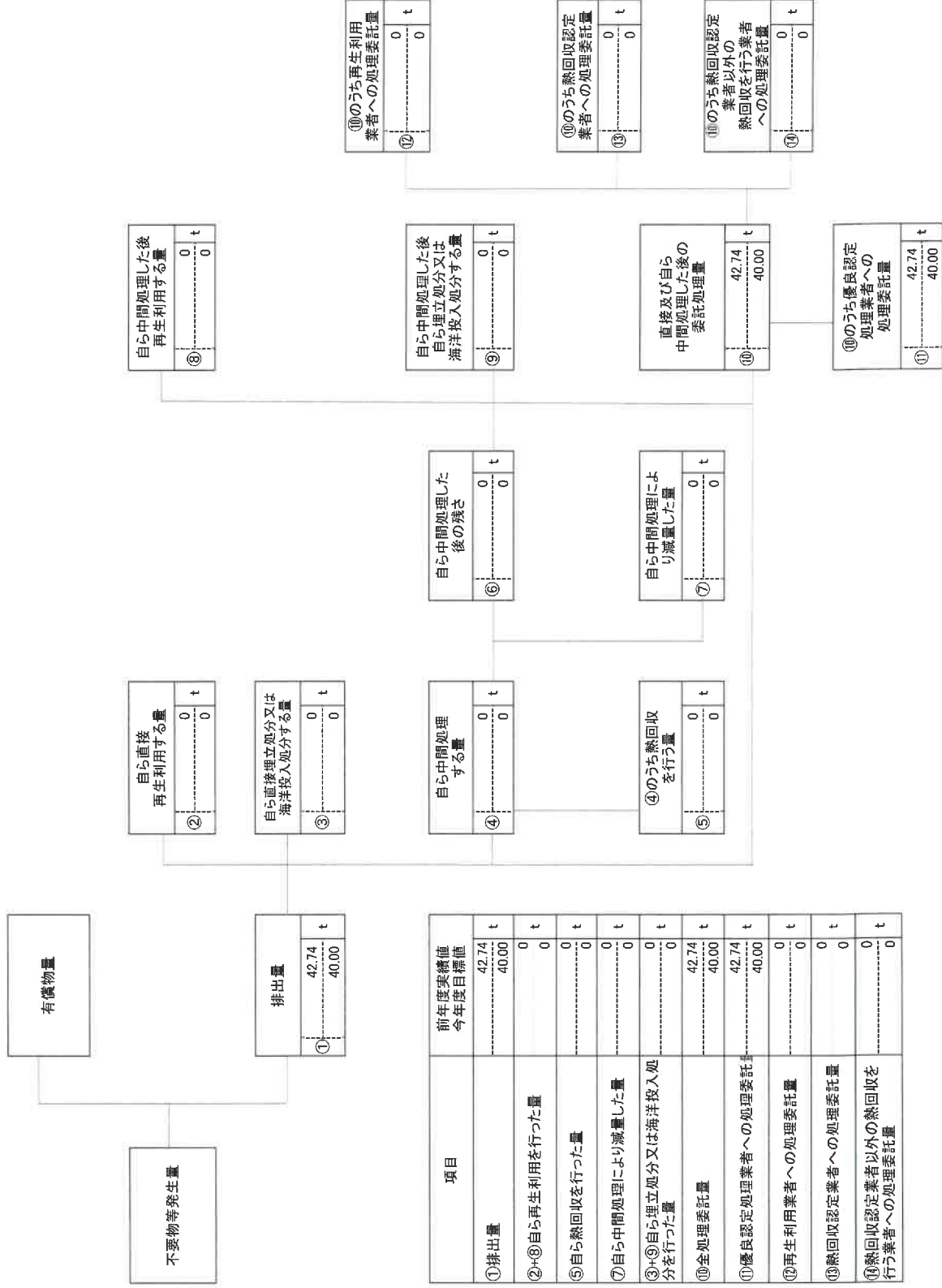
⑩のうち再生利用業者への処理委託量	
⑫	0 0

⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量	
⑬	0 0

⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	
⑭	0 0

(産業廃棄物の種類

廃プラスチック)



(産業廃棄物の種類

木くず

)

有償物量	
不要物等発生量	
排出量	
①	27.94 25.00t
項目	前年度実績値 今年度目標値
①排出量	27.94 25.00t
②+⑧自ら再生利用を行った量	0 0t
⑤自ら熱回収を行った量	0 0t
⑦自ら中間処理により減量した量	0 0t
③+④自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0 0t
⑩全処理委託量	27.94 25.00t
⑪優良認定処理業者への処理委託	27.94 25.00t
⑫再生利用業者への処理委託量	0 0t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0 0t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 0t

自ら直接再生利用する量	
②	0 0t

自ら直接埋立処分又は海洋投入処分する量	
③	0 0t

自ら中間処理する量	
④	0 0t

④のうち熱回収を行う量	
⑤	0 0t

自ら中間処理により減量した量	
⑦	0 0t

自ら中間処理した後の残さ	
⑥	0 0t

自ら中間処理した後再生利用する量	
⑧	0 0t

自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分する量	
⑨	0 0t

⑩のうち再生利用業者への処理委託量	
⑫	0 0t

⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量	
⑬	0 0t

⑩のうち熱回収認定業者以外の業者へ熱回収を行う業者への処理委託量	
⑭	0 0t

直接及び自ら中間処理した後の委託処理量	
⑩	27.94 25.00t

⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量	
⑪	27.94 25.00t

(産業廃棄物の種類

紙くず)

項目	前年度実績値 今年度目標値
①排出量	0 1.00 t
②+⑧自ら再生利用を行った量	0 0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0 0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0 0 t
③+④自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0 0 t
⑩全処理委託量	0 1.00 t
⑪優良認定処理業者への処理委託	0 1.00 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0 0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0 0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 0 t

不要物等発生量

有償物量

排出量
①

自ら直接再生利用する量
②

自ら直接埋立処分又は海洋投入処分する量
③

自ら中間処理する量
④

自ら中間処理した後の残さ
⑤

自ら中間処理した後、自ら埋立処分又は海洋投入処分する量
⑥

自ら中間処理した後の再生利用する量
⑦

④のうち熱回収を行う量
⑧

⑤のうち再生利用業者への処理委託量
⑨

⑥のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量
⑩

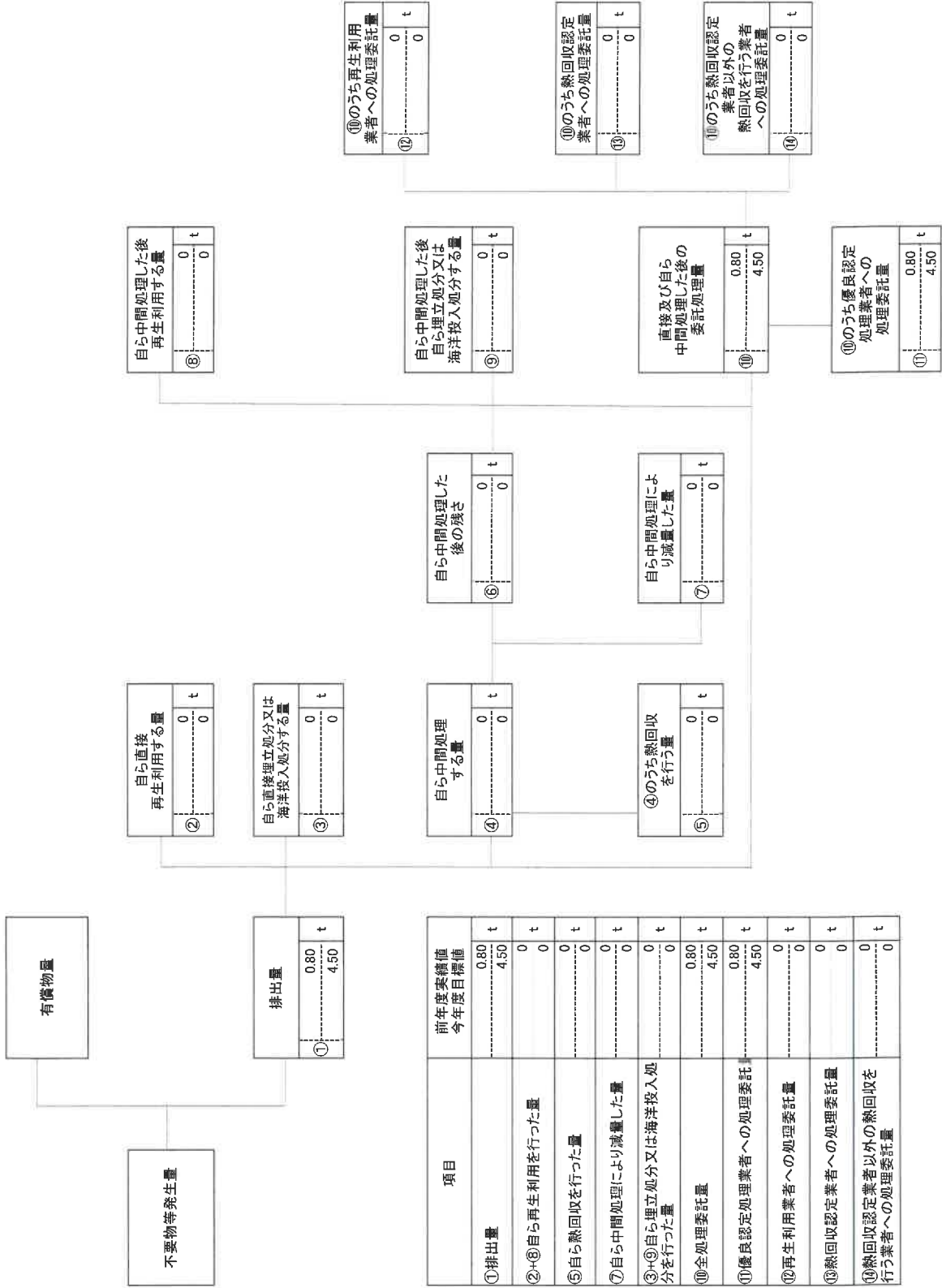
⑦のうち熱回収認定業者への処理委託量
⑪

⑧のうち再生利用業者への処理委託量
⑫

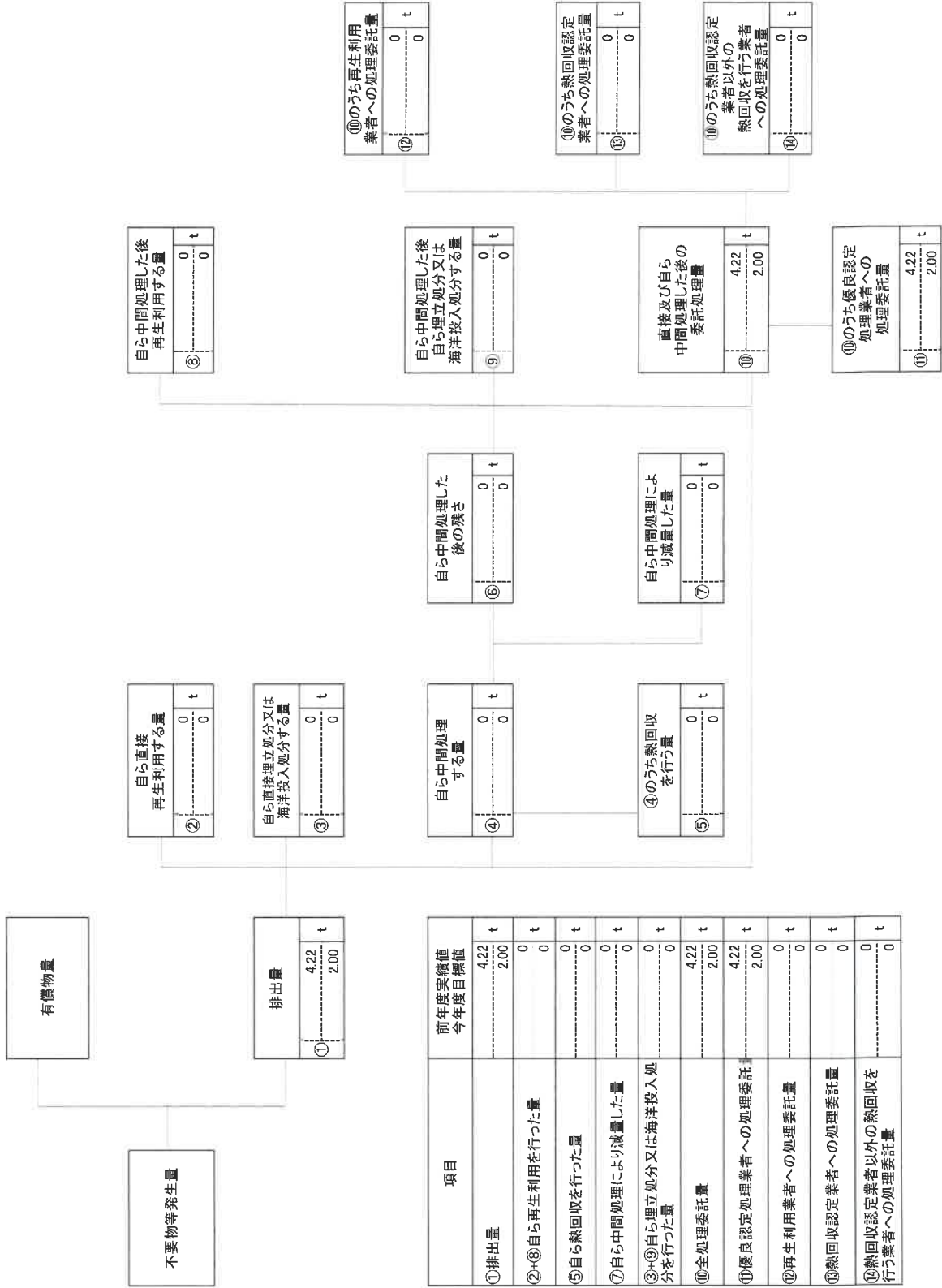
⑨のうち熱回収認定業者への処理委託量
⑬

⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量
⑭

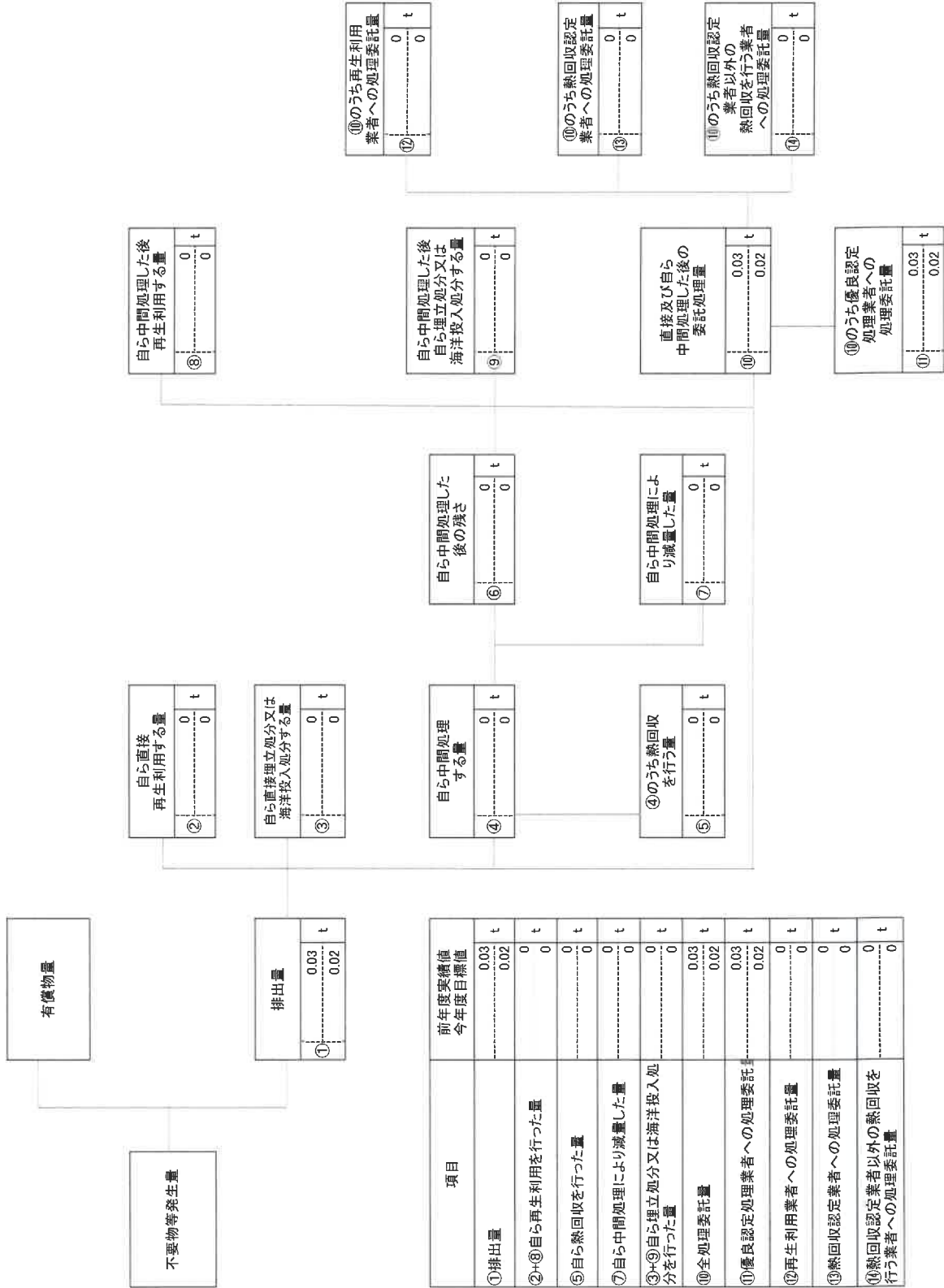
(産業廃棄物の種類 ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず)



(産業廃棄物の種類 廃プラ、金属くず、ガラスくずの混合)



(産業廃棄物の種類 水銀使用製品産業廃棄物)



(産業廃棄物の種類

廃電池類

)

有償物量	
不要物等発生量	
排出量	
①	0.04 0.03 t
項目	前年度実績値 今年度目標値
①排出量	0.04 0.03 t
②+⑧自ら再生利用を行った量	0 0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0 0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0 0 t
③+④自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0 0 t
⑩全処理委託量	0.04 0.03 t
⑪優良認定処理業者への処理委託	0.04 0.03 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0 0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0 0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 0 t

自ら直接 再生利用する量	
②	0 0 t

自ら直接埋立処分又は 海洋投入処分する量	
③	0 0 t

自ら中間処理 する量	
④	0 0 t

④のうち熱回収 を行う量	
⑤	0 0 t

自ら中間処理した 後の残さ	
⑥	0 0 t

自ら中間処理によ り減量した量	
⑦	0 0 t

自ら中間処理した後 再生利用する量	
⑧	0 0 t

自ら中間処理した後 自ら埋立処分又は 海洋投入処分する量	
⑨	0 0 t

直接及び自ら 中間処理した後の 委託処理量	
⑩	0.04 0.03 t

⑩のうち優良認定 処理業者への 処理委託量	
⑪	0.04 0.03 t

⑩のうち再生利用 業者への処理委託量	
⑫	0 0 t

⑩のうち熱回収認定 業者への処理委託量	
⑬	0 0 t

⑩のうち熱回収認定 業者以外の 熱回収を行う業者 への処理委託量	
⑭	0 0 t